

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

我が子を通わせたいと思う日本一の学校づくり

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、子ども達のよき手本となります。
- 3 私たちは、信頼を裏切りません。

不祥事根絶のための行動計画

呉市立呉中央小学校
作成責任者 校長 神笠 雅司

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修に関する校内研修の時間の確保が難しい。 ○教師としての崇高な使命に対する自覚と使命感をさらに高めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して定期的に服務研修を確実に実施する。 ○教育公務員としての使命を自覚し、やりがいをもって、教育実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修計画に沿って服務研修を確実に実施するとともに、職員朝会等で日常的に規範意識の高揚を図る。 ○ヒヤリハット事案を出し合う研修を実施し、お互いが学び合うとともに、日常的に声かけができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回、服務研修の内容に係るアンケートを行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ともすれば教職員個人の技量に依存しがちである。 ○全教職員での情報共有が十分にはできていないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、協働的に組織で仕事を進めることができるようにする。 ○報告・連絡・相談・確認を徹底し、情報の共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年会や分掌部会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○「報・連・相・確認」を合い言葉にすることで意識を高め、確実に報告、連絡、相談及び確認を行う。 ○生徒指導主事や学年主任など、主任層が進捗管理及び報告をしっかりと行うよう意識付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企画委員会や生徒指導・特別支援教育推進委員会で情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の認知度が低い。 ○相談の件数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○いつでも相談できる環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○HPや学校通信で保護者等に周知するとともに、全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○児童がいつでも誰とでも相談できるよう声をかけていく。教職員については、面談を活用し、相談を受け付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回、児童、保護者及び本校教職員を対象にしたアンケートを実施する。

